

〔専門医による講話〕

- 1 テーマ 「性教育」
- 2 対象 1年次
- 3 専門医 伊藤 真理子 医師
(真理子レディースクリニック)
- 4 実施月 6月
- 5 内容(キーワード)
思春期の身体の変化 月経管理について
子宮頸がんワクチンについて
プレコンシャスケアについて 家族計画について



評価(あてはまるものに○をつけ、理由を記入)

①健康課題の解決について

- 有効だった
有効でなかった

<その理由>

*特に月経について、本校生は我慢するものという認識が非常に強く、その意識改善が難しい。専門医より、もはやそういう時代ではないのだということを解説してもらうことで、自己管理能力を身に付けさせられたと思う。

②保健教育における校内連携について

- 有効だった
有効でなかった

<その理由>

*1年次の6月に毎年実施すると固定することで、健康管理にかかわる基本的な自己管理能力を早い段階で育てるという方針が定着しており、年次LHRにも組み込まれている。

③校外の関係機関等との連携について(派遣専門医を含む)

- 有効だった
有効でなかった

<その理由>

*健康管理のための受診ということに抵抗感がなくなるよう講演して下さることがありがたい。また、講師より様々な最新の情報提供がなされるが、保健指導の際の指針になるのもありがたい。

〔受講者の感想など〕

- 誰にも聞けなかった月経管理の在り方について学ぶことができて良かった。
- プレコンシャスケアという考え方を学べて良かった。
- 最後に「あなたの命は奇跡的なものだ」と言われた時に親に感謝した。

〔教科やその他の指導との関連性〕

- 保健体育(保健)や、家庭科(保育)とかかわる部分について、横断的に理解を深めることができた。

